



長谷川たかこ

区議会レポート

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、東京では感染者数の高止まりが続いています。お花見など春のお楽しみが相次いで中止となって残念ですが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛下さいませ。再びお目にかかれそうです。

弱者にやさしく、暮らしやすい 誰からも選ばれる足立区を!

多様性を
認める
世の中に

足立区は多様な人が集まる都市部という地の利からもLGBTのみならず、色弱者や視覚障がい者や中国残留帰国者など、いわゆる少数派の特性を持った人であっても、暮らしやすい・誰からも選ばれる足立区を目指すことが重要です。長谷川たかこは、多様性社会の構築に向けた取り組みを行い、今後も積極的に国や東京都の補助事業を活用させ、想像力と知恵と工夫をもって実効性ある施策を足立区議会の中から戦略的に展開していきます。

長谷川たかこの積極的な議会提案、請願活動が続々と実現しています!!



令和3年度の新規事業

先駆的な施策はじまる。

とうきょうママパパ応援事業

- ・妊婦全員に育児パッケージとして、こども商品券1万円分の支給
- ・さらに子どもが1歳になったらファーストバースデーサポートとして、こども商品券を支給。
第一子1万円分・第二子2万円分・第三子3万円分

産前産後支援

- ①多胎児家庭移動支援として、子ども商品券2万4000円分の支給。
- ②デイサービス型産後ケアが4か月未満から1歳未満まで延長されて受けられます。

特定不妊治療費助成支援

特定不妊及び男性不妊治療費が東京都の助成事業の承認を受けた方に対して5万円または2万5千円を上限に上乗せ助成を実現させました。

長谷川たかこも過去に不妊治療を受けており、身に染みてその大変さが分かります! 女性は特に肉体的・精神的苦痛が伴うもの。長く治療を続けるには財政的な支援が必要です。

小中学校一人1台1タブレット端末導入

タブレットが全校に導入され、読み書きに困難を抱える子ども達に対する支援が開始。



養育費の確保支援

- 離婚時の公正証書作成費用の補助
1人:5000円・1万7000円
- 養育費の支払い支援のため、
民間の保証会社と養育費立替契約の初回保証料の補助
1人:5万円

養育費の確保と支援について、2014年から足立区当局へ弁護士らと粘り強く提言。昨年は実績ある事業者を足立区へ招き、各自自治体の仕組みや事業手法を当局に説明。7年越しの提言がついに実り、ようやく立ち上げることができました。

小中学生の不登校支援拡充

ペアレントメンターとの連携で小中学生の親子への支援、中学生版のみだったチャレンジ学級を小学生版に整備し直し、小学生の居場所をさらに広げます。



Manifesto Awards

早稲田大学 マニフェスト研究所
マニフェスト大賞

第5回 最優秀政策提言賞「行政街づくりへのユニバーサルデザインの導入」
第12回 優秀政策提言賞「生きづらさを抱えた人」に対する支援事業の構築
第13回 優秀政策提言賞/ノミネート「妊娠・出産・育児等と働き方の両立支援」

長谷川たかこの政策提言が全国トップレベルの取り組みとして進んでいます!

足立区発、全国へ。他都市に先駆けた施策にチャレンジ！ 全国一の子育て都市・足立区に

成果

- 長谷川たかこの提案で、令和4年度から宿泊型産後ケアに補助金がつき、利用できます。
- 発達障がい特性のある親や子ども達に対する支援を構築していきます。

提案

子どもの「育ち」支援

子育て中のママパパや孫育て期の祖父母世代までの「親育ち」を応援します。親・祖父母の意識や知識・楽しく育てるノウハウを伝える講演会・講座を実施し、身近なエピソードや資料をもとに子育てを楽しく学び合う学習プログラムを構築。

提案

ペアレントメンター事業の展開

足立区全域での事業展開。区内で困り感のある親子に寄り添います。

提案

発達障がい者・家族支援

全国的にも支援が行き届いていない青年期・成人期支援を構築します。

提案

乳幼児の目の疾患・異常の早期発見・治療

カメラ型オートレフラクトメータを導入して、この機器を用いた高精度な視力検査を3歳児健診で行っていきます。



成果

「ユニバーサルデザインの教育」構築

令和4年度よりモデル4校から全国へ。特性のあるなしにかかわらず、全ての子どもが分かりやすい・生きる力を育む授業を行っていきます。

提案

文化芸術支援

文化庁が示す補助金、文化芸術創造拠点形成事業を活用し、足立区の子ども達が音楽やアートなどの力が育む支援を行っていきます。



このレポートは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構*のアドバイスのもと、色覚の個人差を問わずご覧いただけるようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しました。(ロゴやイラストは対象外)
*カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)とは、色覚バリアフリー/カラーユニバーサルデザインへの配慮を啓発する活動を行うことを目的に2004年に設立されたNPO法人です。

綾瀬駅前のエリアデザインを最適なものに。

綾瀬地区の図書館づくりを目指します。

綾瀬駅前にみんなが憩えるレストラン&カフェやホールの設置、さらに、旧東綾瀬区民事務所跡地に保健所の移設、図書館の新設も含めた『賑わいある、憩える、勉強ができる』綾瀬の街づくりを目指します。

がん患者・がん体験者・ 家族支援として 緩和ケアを構築します。

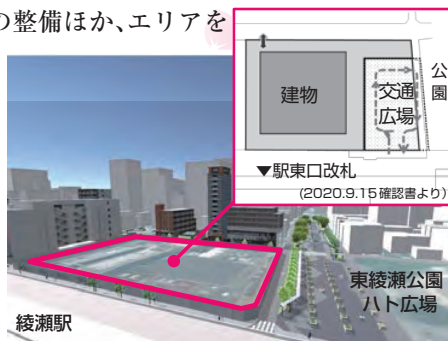
がん患者、がん体験者は、病院を離れてからが本当の闘い。医療のみならず日々の暮らしの中で、その後の人生を豊かに過ごし、がん患者、がん体験者、そしてそのご家族が必要と考える支援を構築していきます。

東口に交通広場

《令和3年度》用地取得に向けての計画が本格的に

足立区は綾瀬駅前の交通広場用地の取得に向け、民間開発業者と協議を進めています。取得できた場合は交通広場の整備ほか、エリアを

西口にも広げ、まちづくりの方向性を示していきます。



▲綾瀬駅前現状と交通広場・開発将来配置

長谷川たかこの政策提案が 令和3年度の予算に 盛り込まれました！